

辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【紹介議員】

請願主旨

辺野古新基地をめぐることは、名護市民と沖縄県民の明確な反対の意思が重ねて示されています。2014年1月の名護市長選挙、同年9月の名護市議会選挙、さらに11月の県知事選挙でも、新基地建設反対を訴えた市長、議会、県知事が圧倒的支持を得、勝利しました。

ところが政府は、沖縄の民意を無視する立場をあらわにし、名護市辺野古沖で埋め立てに向けた海上工事を強行しています。

再三にわたり表明された新基地建設反対の市民、県民の民意、地元自治体の意思を無視して工事を強行することは民主主義の初歩的原則に反するものであり、許されません。また、辺野古新基地建設については、希少生物への影響や、土砂搬入に伴う環境問題など重大な問題が指摘されています。

同時に、土砂の搬出・搬入については、各地域の港が使用されることとなり、我々港湾で働く労働者は、その埋め立て工事に加担せざるを得なくなります。新基地建設は軍事強化につながる事となり、基地建設にともなう土砂搬出入作業は、戦争法反対の立場から、到底受け入れる訳に行きません。

普天間基地問題の解決は無条件撤去以外にありません。また、政府は「抑止力のために基地は必要」としていますが、米海兵隊は遠征部隊であり、日本防衛の任務は与えられていません。

以上の立場から、私たちは下記事項の実現を強く求めます。

請願事項

1. 辺野古新基地建設工事を中止すること。
2. 普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去をアメリカ合衆国に求めること。

氏名	住所

【取扱団体】 全国港湾労働組合連合会 東京都大田区蒲田5-10-2/TEL03-3733-2561